

駿河湾沼津江浦港出船

テクニカルナイトゲーム

駿河湾沼津の夜タチウオ

撮影●粕川晃

★夜タチウオは沼津の名物ターゲット



▲ビギナーにも人気がある



▲今後の上昇に期待
▼誘って掛けるゲーム性はタチウオならではの

▶三べも交じる
▼イトヨリも釣れた



◀指幅2.5
～3本前後が多い

タックル&仕掛けはシンプルで

●沼津の夜タチといえばひと昔前まではマダイ竿などの軟調長竿で、仕掛けもワイヤーハリスにタコベイトや夜光パイプ、ハリもティンセルなどで装飾し水中ライトもピッカピカとかなり派手なものだったが、最近では東京湾スタイルのライトタックルで、仕掛けも装飾一切なしのシンプルな物がスタンダードになってきた。「まだ長い竿や派手めな仕掛けでやる人も時どきはあるしそれで釣れなくはないけど、食い渋ったらやっぱりシンプルな仕掛けで誘ったほうが食いはいいね」と船長。



▲東京湾のテンピンタチウオタックルを流用できる
▼付けエサはサンマの切り身



夜釣りが人気の駿河湾沼津の定番といえはタチウオ。今シーズンには秋から好調で大型主体に釣れていたが、ここへきてやや苦戦気味。目下の釣り場は原沖でタナは海面から30〜50メートル前後。ベイトの反応が少なくタチウオも散っている状態とのことだが、今後ベイトの反応が出てくれば再び数釣り期待できるようになるはず。当地の夜タチウオは例年2月ごろまで続くので、まだまだ熱いナイトゲームを楽しめるだろう。

(詳細は58ページ参照)

